

# 地域おこし協力隊活動報告

市では、平成28年7月に初めて「桐生市地域おこし協力隊」を委嘱し、現在も2人の隊員が活動しています。今号では、これまでの2人の取り組みについて紹介します。問い合わせは、黒保根支所市民生活課庶務・税務係（☎962111）へ。

お互いが支えあえる地域へ  
宮木源隊員（神奈川県出身）



ミニサロンで活動する宮木隊員（左から2人目）

高齢者対策に取り組む宮木隊員は、任期最後の3年目を終えようとしています。町内で行われる高齢者サロンの参加や高齢者宅への訪問など地道な活動を続けた結果、宮木隊員の訪問を心待ちにする高齢者も多く、なくてはならない存在になっていま

す。また、近所同士の交流を復活させたいという思いから「ミニサロン」の活動も開始し、他愛のないおしゃべりを楽しめると大変喜ばれています。この活動から独自に交流会を始めた地域もあり、「ミニサロン」をきっかけにして、

今後も続いていく交流の場を築けたことが、本当に良かった。」と、宮木隊員も手ごたえを感じていました。

なお、宮木源隊員は、3月31日をもって桐生市地域おこし協力隊の任期を終えます。

宮木隊員の退任あいさつ

この3年間でたくさんの方々の黒保根町の方々に会うことができました。

活動中は、多くの高齢者と関わりを持たせていただき、会いに行くだけで喜んでもらえたことは、かけがえのない貴重な経験となりました。

黒保根町の皆さんから学んだ温かい心配りは、これからの人生でずっと大切にしてい

きたい宝物です。第二のふるさと、黒保根での経験を胸にこれからも頑張っていきたいと思います。本当にありがとうございました。

地域の魅力を掘りおこす  
北條早隊員（埼玉県出身）



イベントの打ち合わせをする北條隊員（中央）

デザインを通して、黒保根の価値ある商品や魅力を発信したいという思いを胸に着任

した北條隊員は、「黒保根やまびこアイス」リニューアルパッケージを手掛け、商品のイメージや魅力が感じられるデザインに仕上がりに、多数のメディアにも取り上げられ順調に売上げを伸ばしています。

また、水沼定住促進住宅の募集パンフレットや、わたらせ渓谷鐵道イルミネーションのポスター作成など地域の情報発信にも取り組みました。

北條隊員は、現在、「みんなのくろほね展」の準備を中心となつて進めており、イベント開催に向けて「地元の方々

と一緒に選んだ黒保根の、いいもの、や、おいしいもの、観光パンフレットには載らない山里ならではの豊かさなど魅力を最大限に伝えたい。」と笑顔で意気込みを語ってくれました。

ホームページで情報発信

桐生市地域おこし協力隊ホームページ（<https://www.w4.hp-ez.com/hp/kiryukurohone>）では、活動の様子や黒保根町の魅力、日々の出来事などを随時発信しています。

## 「みんなのくろほね展」を開催します

「黒保根のことを知ってもらいたい、もっと魅力を伝えたい、もっと元気になりたい」という思いを共有する地域のみなさんと地域おこし協力隊で企画したイベントです。

黒保根の素材にこだわった「くろほねランチ」、八木節、黒保根名物のポン菓子のほか、厳選された特産品の販売も行う予定です。

期日＝3月29日（金）～31日（日）

時間＝午前11時～午後7時※31日（日）は午後3時まで

場所＝プラスアンカー（本町六丁目）

問い合わせ＝黒保根支所市民生活課庶務・税務係（☎96-2111）